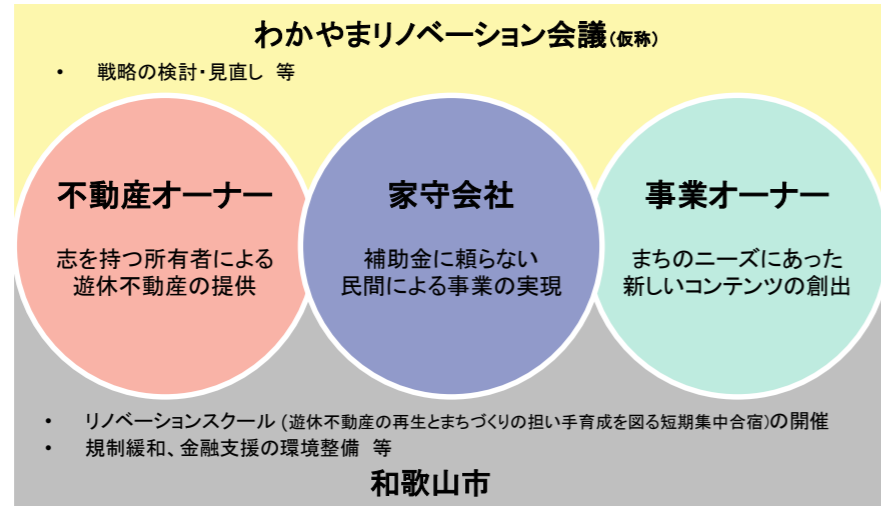


6. 実現の体制

民間自立型のまちづくり会社である「家守(やもり)会社」を中心に、不動産オーナー、事業オーナーや和歌山市が連携し、遊休不動産や公共空間のリノベーションを通じてコンテンツを生み出していきます。



7. 指針の策定経過

本指針の策定に当たり、市民参加型の「わかやまリノベーションまちづくり構想検討委員会」を6回開催し、延べ600人以上の方々に参加し、一般参加者の意見も指針に反映させています。

<委員会の構成>

委員長	嶋田 洋平	(株)リノベリング 代表取締役
委員	梅田 千景	和島興産(株) 代表取締役
	櫻畑 友洋	(株)南北 常務取締役
	源じろう	proyect g oficina 代表
	倉方 俊輔	大阪市立大学大学院 工学研究科 准教授
	武内 淳	(株)宿坊クリエイティブ 代表取締役
	豊田 英三	(株)ワカヤマヤモリ舎 代表取締役
	永瀬 節治	和歌山大学観光学部 准教授
	吉川 誠人	(株)紀州まちづくり舎 代表取締役
	依岡 善明	城善建設(株) 代表取締役社長

<委員会の開催状況>

- 第1回 H28.7.15
テーマ「家守と不動産オーナー」
- 第2回 H28.9.1
テーマ「周辺エリアの魅力的コンテンツ・和歌山の新産業」
- 第3回 H28.10.20
テーマ「子育てと女性が活躍できるまち」
- 第4回 H28.11.14
テーマ「和歌山の空間資源」
- 第5回 H28.12.20
テーマ「戦略的都市政策と公民連携～補助金からファイナンスへ～」
- 第6回 H29.1.13
テーマ「和歌山の未来 まとめ」



わかやまリノベーション推進指針

【概要】



8. 問合せ先

和歌山市 産業まちづくり局 産業部 商工振興課
〒640-8511 和歌山市七番丁23番地 電話 073-435-1233
わかやまリノベーション推進指針は、和歌山市のホームページ からご覧ください。

平成29年3月
和歌山市

1. わかやまリノベーション推進指針の目的と位置付け

和歌山市では、まちなかに雇用と産業の創出を図っていくため、公民連携のもと、リノベーションによるまちづくり(以下「リノベーションまちづくり」という。)に取り組んでいます。

わかやまリノベーション推進指針は、上位計画である和歌山市長期総合計画や和歌山市産業振興ビジョン、和歌山市立地適正化計画に基づき、リノベーションまちづくりの目的や方向性、進め方を示すものです。

2. 和歌山市の都市経営課題

＜本市の課題＞

- ① 遊休不動産の活用によるまちなかエリアの価値の引上げ
- ② まちなかのコンテンツの充実
- ③ 質の高い雇用の創出
- ④ 財政状況の改善

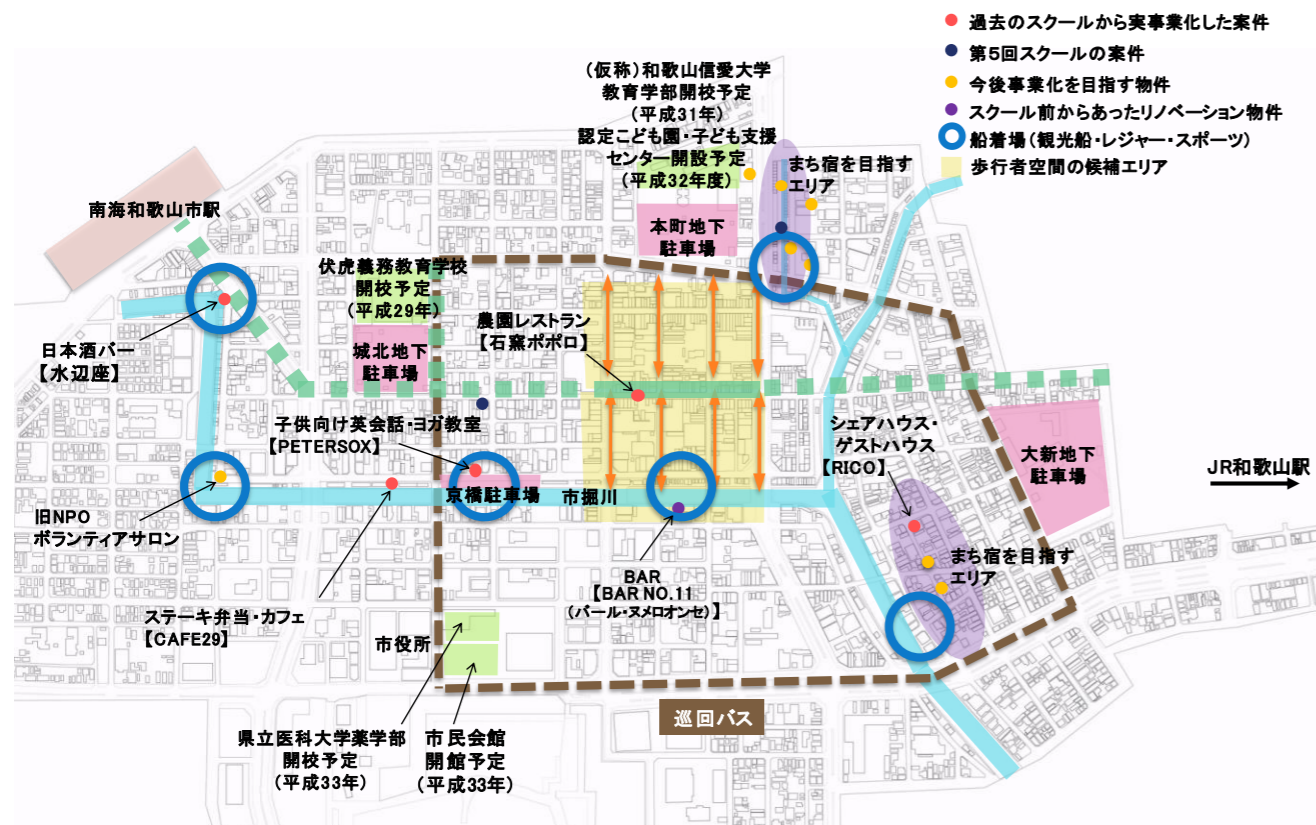
※ コンテンツ…住む、学ぶ、育てる、働く、遊ぶ等のライフスタイルや文化、スポーツ、それらを提供する人等。

＜平成26年 遊休不動産・駐車場調査＞



3. 対象エリア

小中一貫校の開校や3大学の誘致、市民図書館・市民会館の移設リニューアルが進んでいること、既にリノベーションまちづくりによる事業化がなされていることから、次のエリアを重点的に進めるエリアとします。



4. わかやまリノベーション推進指針のテーマ

教育高品質なまち(公の教育×民の教育)

市民誰もが品質の高い教育を受ける機会に恵まれているまち

$$\left(\begin{array}{l} \text{質の高い教育機会} \\ \text{と子育て環境の創出} \end{array} \right) \times \left(\begin{array}{l} \text{空間資源} \\ \text{の活用} \end{array} \right) \Rightarrow \begin{array}{l} \bullet \text{新しく質の高い様々な教育機会・教育環境の提供による「学」のコンテンツの充実} \\ \bullet \text{子育て世代をはじめとする世代の居住促進} \end{array}$$

コンテンツのあふれるまち

今の城下町わかやまにふさわしいコンテンツが充実しているまち

$$\left(\begin{array}{l} \text{質の高い雇用の創出} \\ \text{都市型産業の振興} \end{array} \right) \times \left(\begin{array}{l} \text{空間資源} \\ \text{の活用} \end{array} \right) \Rightarrow \begin{array}{l} \bullet \text{まちのニーズにあった新しいコンテンツの提供} \\ \bullet \text{雇用の確保} \\ \bullet \text{多世代の交流促進} \end{array}$$

5. 実現のための戦略

① 質の高い教育機会と子育て環境の創出



② 遊休不動産の住宅転用

③ 都市型産業の振興と質の高い雇用の創出



④ 民間駐車場の農園等への転用

⑤ 道路の歩行者空間化

⑥ まちなかとフリンジ駐車場や和歌山大学を結ぶ二次交通

⑦ 河川・水辺空間の活用

⑧ 水辺周辺の公共不動産の活用

⑨ 新たなファイナンススキームの構築

⑩ まちなかと周辺エリアをつなぐ新たな観光戦略



⑪ まちなかと周辺エリアのネットワーク化と情報発信